

第2期総合戦略の総括について

(1) 取り組み目標について

2. 本市の取り組みの方向性

今後の人口減少社会においても、持続可能な都市経営を行うことが今後の地方公共団体に求められています。都市経営において、人口は重要な要素の一つであり、1. で示すような将来像に対して、本市の自然増減と社会増減による人口推移をどのようにイメージしていく必要があるのか、施策以外の社会的な要因もありますが、本市として継続して検討し、取り組む必要があります。

自然増減に関連する指標である合計特殊出生率の向上については、国と地方の効果的な役割分担の元で、本市の役割を果たしていく観点から、枚方市で子どもを産み、育てたいと思えるまちづくりに重点的に取り組んでいきます。

また、社会増減については、若年世代・単身世帯で枚方市から転出した人々の回帰を含め、枚方市で子育てをしたいと思えるまちとすることで子育て世帯の更なる転入超過を目指します。このことに加え、子育てをはじめ、健康・福祉・賑わい・安全安心・産業活性化など様々な分野において魅力的なまちづくりに取り組み、転入人口の拡大につなげ、これらにより長期的には社会増減がプラスになり、人口ビジョンで示した枚方市人口の将来見通しに近づくよう、総合戦略事業の効果的な実施を進めていきます。

【取り組み目標】



若年世代・単身世帯で枚方市から
転出した人々の回帰を含めた
子育て世帯の転入超過
累計 1,500 世帯(※)

※20~44歳の夫婦世帯、夫婦子あり世帯
令和2年~令和5年の4年の累計



・合計特殊出生率
の向上に寄与
・長期的に社会増減
をプラスに転換

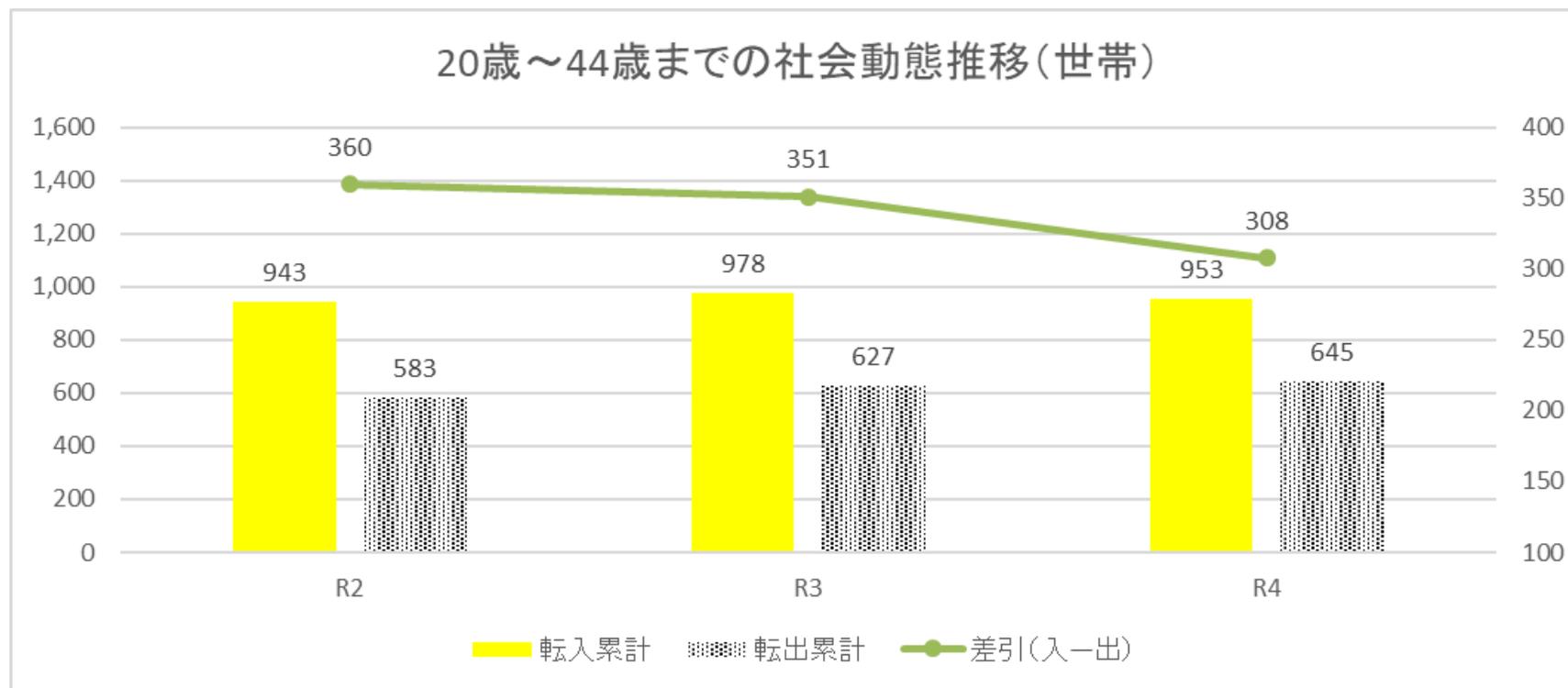
目標：子育て世帯の転入超過 累計1,500世帯

- ※本市から転出した人々の回帰を含む。
- ※20～44歳の夫婦世帯、夫婦子あり世帯
- ※令和2年～令和5年の4年の累計

単位（世帯）

	年間目標	実績値	合計差額
R2	375	360	
R3	375	351	
R4	375	308	
R5	375	-	
	1,500	1,019	481

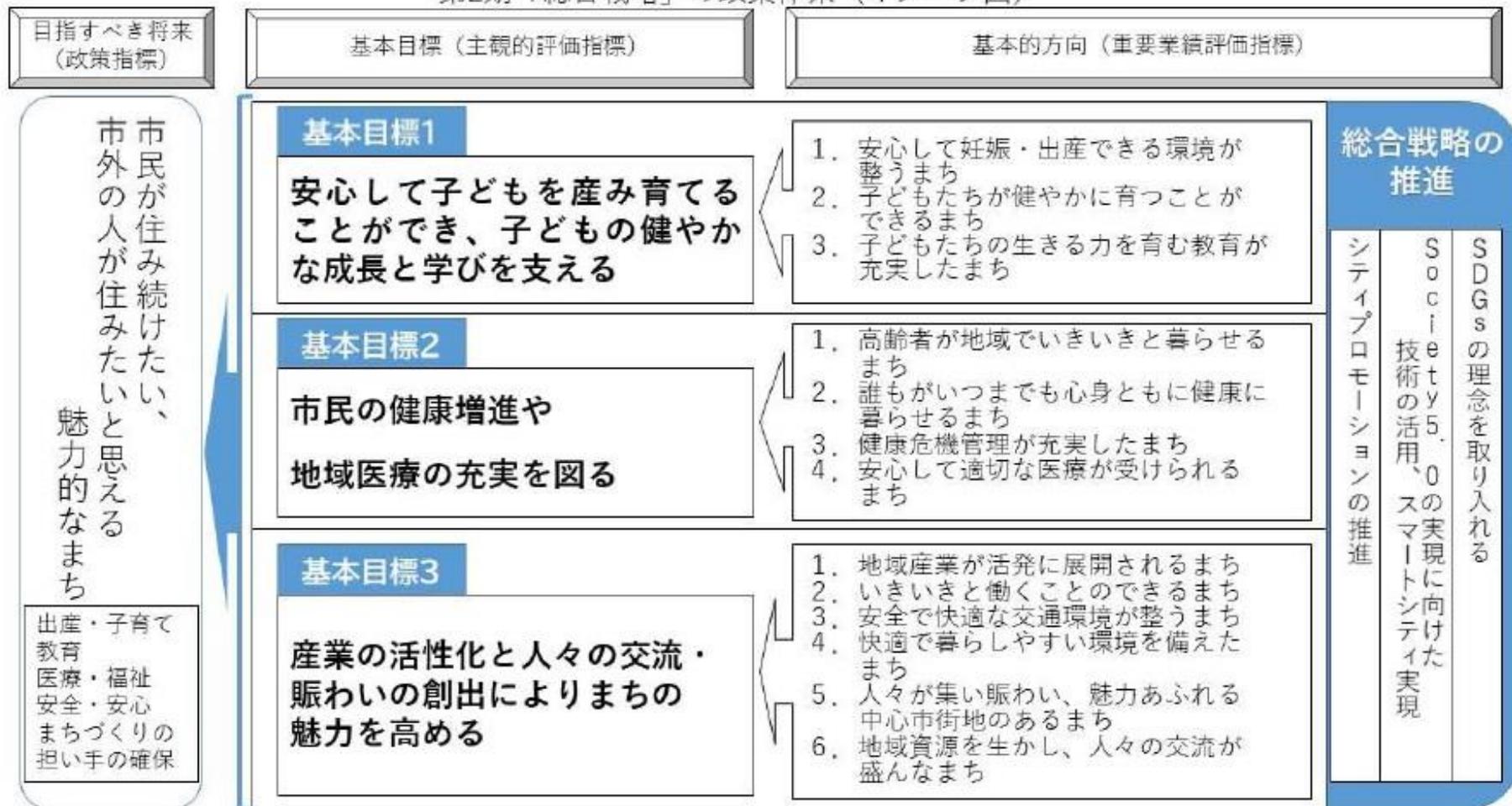
→ 子育て世帯の転入超過は目標値に向け順調に推移している



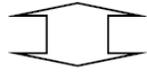
(2) 第2期総合戦略の構成

「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」では、少子高齢化が急速に進展し、人口減少が進む中であっても、さらなるまちの魅力向上をめざして、効果的な取り組みを集中的に実施していくため、2つの政策指標を掲げるとともに、3つの基本目標を定め、取り組みを進めてきました。

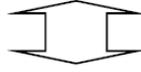
第2期「総合戦略」の政策体系（イメージ図）



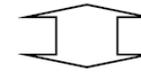
目指すべき将来（方向性）



基本目標



基本的方向



政策指標

総合戦略が目指す方向性
「市民が住み続けたい、市外の人に住みたいと思える魅力的なまち」

政策指標 1

本市への定住意向を示す
市民の割合

政策指標 2

本市を住みよいと感じる
市民の割合

主観的成果指標

基本目標
「安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える」

安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合

安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合

子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合

重要業績評価指標（KPI）

基本的方向
「子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、疾病等の予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。」

乳幼児健康診査の受診率

基本的方向
「保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めます。」

保育所等利用待機児童数

留守家庭児童会室待機児童数

保育所等定員増数（3歳未満児）

基本的方向
「障害児等が健やかに育つことができる環境づくりを進めます。」

放課後等デイサービス利用者数

児童発達支援利用者数

基本的方向
「子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。」

地域子育て支援拠点事業利用者数

基本的方向
「子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。」

児童虐待に関する相談件数

基本的方向
「ひきこもりや若年無業者（ニート）の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。」

ひきこもり等に関する相談件数

基本的方向
「子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。」

ひとり親家庭の自立支援に関する給付金受給者のうち就職した人数

基本的方向
「男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図ります。」

育児休業を取得した男性職員数

(3) 政策指標の推移

総合戦略では、市民の定住や市外からの人口誘導を促進するため、本市への定住意向や住みよさの向上を政策指標として設定。

推移を踏まえ、以下のとおり分類（（4）も同様）。

- ①…目標値を達成したもの
- ②…目標値には至らなかったが、策定時の値を上回っているもの
- ③…策定時の値を下回っているもの

※政策指標及び主観的成果指標の値は、令和元年および令和5年に実施した市民意識調査によるもの。

単位（%）

政策指標の推移	策定時 R 1	R 5	目標値	分類
政策指標 1：本市への定住意向を示す市民の割合	89.2	82.7	92.2	③
政策指標 2：本市を住みよいと感じる市民の割合	80.1	78.3	83.1	③

政策指標 1・2 ともに目標値には達しておらず、策定時の値を下回った。

(4) 3つの基本目標に関する主観的成果指標の推移

政策指標の達成に向け、国や大阪府の総合戦略の政策分野を勘案しながら、人口減少に対応するための効果的な取り組みを集中的に実施していく観点から、一定のまとまりの政策分野ごとに基本目標を定め、その実現に向けた主観的成果指標をそれぞれ設定。

これまでの推移は次のとおり。

基本目標1 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える 単位 (%)

	施策目標	主観的成果指標	策定時 R 1	R 5	目標値	分類
1	安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合	38.5	34.7	43.5	③
2	子どもたちが健やかに育つことができるまち	安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合	44.5	39.3	49.5	③
3	子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合	39.4	36.5	44.4	③

すべての主観的成果指標で目標値には達しておらず、策定時の値を下回った。

基本目標 2 市民の健康増進や地域医療の充実を図る

単位 (%)

	施策目標	主観的成果指標	策定時 R 1	R 5	目標値	分類
1	誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	56.1	51.5	61.1	③
2	公衆衛生や健康危機管理が充実したまち					
3	安心して適切な医療が受けられるまち	安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	49.6	59.8	62.5	②
4	高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	30.0	34.2	35.0	②

施策目標 3 「安心して適切な医療が受けられるまち」に関する指標「安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合」および

施策目標 4 「高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち」に関する指標「高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合」が目標値には達していないものの、策定時の値を上回った。

その他の指標については、目標値には達しておらず、策定時の値を下回った。

基本目標3 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める

単位 (%)

	施策目標	主観的成果指標	策定時 R 1	R 5	目標値	分類
1	地域産業が活発に展開されるまち	市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	20.7	20.2	25.7	③
2	いきいきと働くことのできるまち					
3	安全で快適な交通環境が整うまち	安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合	30.2	31.6	35.2	②
4	快適で暮らしやすい環境を備えたまち	公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合	41.9	52.1	46.9	①
5	人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合	42.6	40.2	47.6	③
6	地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合	21.2	17.8	24.2	③

施策目標4「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」に関する指標「公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合」が目標を大きく上回った。

施策目標3「安全で快適な交通環境が整うまち」に関する指標「安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合」が目標値には達していないものの、策定時の値を上回った。

その他の指標については、目標値には達しておらず、策定時の値を下回った。

【第2期総合戦略の総括】

～政策指標～

本市への定住意向や住みよさの向上を測るための政策指標については、高い水準を維持してはいるものの、策定時の値より低下。

～基本目標に関する主観的成果指標～

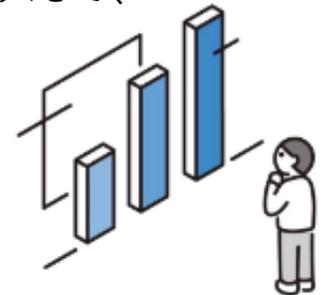
公共交通機関の利便性に関する市民の満足度は目標を上回る一方で、妊娠・出産、子育て・教育、心身の健康、活発な産業活動、まちのにぎわいに関する施策についての市民の満足度が策定時の値を下回っている。

～基本的方向ごとのKPI～

KPIは87指標中、すでに目標を達成しているものが14指標ある一方で、策定時と比較し、目指すべき方向に向かっていないもの（着色なし）が42指標あった。

→目標未達成の取り組みについては、目標達成に向け強化・充実を図るとともに、必要に応じ、取り組み方法の見直しを検討。

→すでに目標を達成している取り組みについては、あらためて課題設定をしたうえで、新たな総合戦略への反映を検討。



(参考) 基本的方向ごとの重要業績評価指標 (K P I) の推移

策定時の値及び前年度の値と比べ、その実績推移が目標値の達成に向けてどのような状況にあるかについて確認し、①～④に分類。
 これまでの推移は次のとおり。

		策定時と比較し	
		目指すべき方向に向かっている又は同じ	目指すべき方向に向かっていない
前年度と比較し	目指すべき方向に向かっている又は同じ	①	③
	目指すべき方向に向かっていない	②	④

【指標の分類方法】

- ①…策定時と比較して目指すべき方向に向かっている又は同じで、かつ前年度と比較して目指すべき方向に向かっている又は同じ場合
- ②…策定時と比較して目指すべき方向に向かっている又は同じであるものの、前年度と比較して目指すべき方向に向かってない場合
- ③…策定時と比較して目指すべき方向に向かっていないものの、前年度と比較して目指すべき方向に向かっている又は同じ場合
- ④…策定時と比較して目指すべき方向に向かっておらず、かつ前年度と比較して目指すべき方向に向かっていない場合

基本目標 1 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	めざすべき方向	KPIの推移による分類	策定時の値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度実績値	目標値
1 安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	(1) 妊娠・出産を望むすべての人が、安心して子どもを産み育てることができるよう、母と子の心身の健康づくりを進めます。	妊娠11週以下での妊娠の届出率	↗	①	96.1%	97.0%	96.6%	96.6%	96.0%
2 子どもたちが健やかに育つことができるまち	(1) 子どもの心身の健やかな育ちを支援するため、疾病等の予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	乳幼児健康診査の受診率	↗	①	95.1%	94.9%	93.6%	96.7%	97.0%
	(2) 保護者のさまざまなニーズに応じて、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境づくりを進めます。	保育所等利用待機児童数	↘	②	320人	0人	0人	9人	0人
		留守家庭児童会室待機児童数	↘	①	0人	0人	94人	0人	0人
		保育所等定員増数(3歳未満児)	↗	①	3,247人	3,427人	3,456人	3,483人	3,454人
		放課後等デイサービス利用者数	↗	①	739人	908人	1,020人	1,026人	954人
	(3) 障害児等が健やかに育つことができる環境づくりを進めます。	児童発達支援利用者数	↗	②	109人	305人	363人	303人	339人
	(4) 子育てに対する相談体制の充実を図るとともに、子育て世帯が交流できる場を確保するなど、地域の子育て支援を進めます。	地域子育て支援拠点事業利用者数	↗	③	78,430人	24,752人	33,936人	47,316人	69,400人
	(5) 子どもの人権擁護の推進を図るため、児童虐待等の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取り組みを進めます。	児童虐待に関する相談件数	↘	①	24,341件	29,911件	35,530件	41,259件	-
	(6) ひきこもりや若年無業者(ニート)の社会的自立に向けた支援を行うとともに、子どもの貧困対策を推進するなど、子どもや若者が社会生活を円滑に営める環境づくりを進めます。	ひきこもり等に関する相談件数	↘	①	2,466件	2,418件	2,446件	2,858件	-
	(7) 子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取り組みを進めます。	ひとり親家庭の自立支援に関する給付金制度利用者数(累計)	↗	④	50人	43人	78人	32人	120人
(8) 男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進を図ります。	育児休業を取得した男性職員数(累計)	↗	①	29人	46人	63人	90人	49人	

※目標値を達成しているものはオレンジ色に、目標値は達成していないが、策定時より向上しているものは、薄黄色に網掛け

基本目標 1 安心して子どもを産み育てることができ、子どもの健やかな成長と学びを支える

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	めざすべき方向	KPIの推移による分類	策定時の値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度実績値	目標値
3 子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	(1) 義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に理解・表現するための言語能力や思考力の育成、国際化に対応した英語によるコミュニケーション能力の育成などにより、子どもの確かな学力の定着を図ります。	学校の授業時間以外での学習を全くしていないと回答した児童・生徒の割合	↘	④ ②	小学校児童4.3% 中学校生徒7.3%	-	小学校児童6.1% 中学校生徒5.4%	小学校児童7.0% 中学校生徒6.5%	小学校児童3.0% 中学校生徒6.2%
		学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童・生徒の割合	↗	④ ③	小学校児童59.9% 中学校生徒47.3%	-	小学校児童55.6% 中学校生徒41.2%	小学校児童54.9% 中学校生徒43.6%	小学校児童66.1% 中学校生徒58.2%
		「算数・数学の授業がわかる」と回答をした児童・生徒の割合	↗	④ ①	小学校児童86.7% 中学校生徒76.0%	-	小学校児童85.8% 中学校生徒75.1%	小学校児童84.8% 中学校生徒81.7%	小学校児童93.1% 中学校生徒86.9%
		国語の授業で目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしている児童・生徒の割合	↗	④ ④	小学校児童81.0% 中学校生徒82.4%	-	小学校児童64.3% 中学校生徒73.5%	-	小学校児童85.3% 中学校生徒88.6%
		生徒の英語の理解度	↗	④ ③ ③	第1学年1.048 第2学年1.056 第3学年1.061	第1学年 1.024 第2学年 1.031 第3学年 -	第1学年 1.038 第2学年 1.015 第3学年 1.047	第1学年 1.008 第2学年 1.032 第3学年 1.047	第1学年 1.1 第2学年 1.1 第3学年 1.1
	(2) 充実した教職員研修等を通じて、高い指導力と意欲を持つ教職員の育成を図ります。	受講した研修内容を授業等に活用している教職員の割合	↗	④	95.1%	92.5%	96.7%	95.0%	100%
		教員が、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、児童・生徒に伝えるなど積極的に評価している割合	↗	④ ④	小学校97.8% 中学校94.8%	-	小学校100% 中学校94.8%	小学校児童97.7% 中学校生徒94.7%	小学校100% 中学校100%
	(3) 学校・家庭・地域が連携しながら、子どもの社会性や思いやりの心など、豊かな人間性を育むとともに、健やかな身体を育成する取り組みを進めます。	自分にはよいところがあると回答した児童・生徒の割合	↗	③ ③	小学校児童84.1% 中学校生徒77.4%	-	小学校児童74.1% 中学校生徒74.6%	小学校児童82.6% 中学校生徒76.4%	小学校児童81.9% 中学校生徒70.6%
		いじめの認知件数	↘	① ①	小学校児童645件 中学校生徒144件	小学校児童658件 中学校生徒271件	小学校児童1,310件 中学校生徒 305件	小学校児童 2,724件 中学校生徒 491件	-
	(4) 学校・家庭・地域・関係機関が連携を図りながら、いじめの未然防止や早期発見を図るとともに、不登校の子どもへの支援に取り組みます。	不登校児童・生徒の割合	↘	④ ④	小学校児童0.62% 中学校生徒4.23%	小学校児童1.04% 中学校生徒4.75%	小学校児童1.39% 中学校生徒5.79%	小学校児童1.81% 中学校児童6.35%	小学校児童0.59% 中学校生徒4.0%
		不審者の侵入件数	↗	①	0人	0人	0人	0人	0人
	(5) 子どもたちの安全確保を図るため、学校・家庭・地域などが連携し、子どもが安全に安心して学べる環境づくりを進めます。	交通安全教室実施回数	↗	③	115回	0回	82回	109回	190回
		犯罪発生件数	↘	①	6.1件	4.5件	4.0件	4.0件	-
	(6) 安全で快適に学習できる環境を確保するため、老朽化した学校施設の更新や改修、学校規模等の適正化を図るなど、教育環境の向上を図ります。	学校施設整備計画に基づく整備率	↗	①	15%	77%	85%	85%	100%
		中学校給食の喫食率	↗	①	32.0%	33.8%	35.1%	35.2%	50.0%
	(7) 障害のある子どもたちの状況に応じた支援教育の充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図ります。	支援教育に関する専門的な知識・技能を持つ専門家の派遣回数	↗	④	453回	107回	117回	113回	544回

※目標値を達成しているものはオレンジ色に、目標値は達成していないが、策定時より向上しているものは、薄黄色に網掛け

基本目標 2 市民の健康増進や地域医療の充実を図る

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	めざすべき方向	KPIの推移による分類	策定時の値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度実績値	目標値
1 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	(1) 保健・医療・介護・福祉等の連携強化を図り、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備をめざします。	地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数	↗	①	15回	11回	14回	16回	24回
	(2) 認知症の高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。	認知症サポーター養成講座の参加者数(累計)	↗	①	22,897人	24,615人	25,491人	26,441人	32,100人
	(3) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、生活支援サービスの充実を図ります。	介護保険給付に占める在宅サービスの割合	↗	①	68.7%	69.3%	69.8%	71.1%	70.5%
	(4) 介護が必要となったときに質の高い介護サービスが受けられるよう、介護保険施設等の基盤整備を進めます。	介護保険施設等の施設数	↗	②	94施設	95施設	97施設	96施設	101施設
	(5) 高齢者がいつまでも健康に生活できるよう、介護予防を推進します。	高齢者居場所など集いの場の参加率	↗	②	4.8%	5.6%	5.8%	5.7%	6.0%
		登録された高齢者の居場所数	↗	②	101か所	116か所	111か所	110か所	110か所
	(6) 高齢者が生きがいを持って生活できるよう、高齢者の技能・経験を生かせる活躍の場や若者との世代間交流の場の確保など社会参加を促進します。	ひらかた生き生きマイレージ(介護予防ポイント事業)による活動件数	↗	③	4,079件	351件	321件	574件	7,500件
2 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、多彩な連携事業の展開を通じて、市民の健康増進を図ります。また、誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制の充実を図ります。	コンソーシアム連携事業への参加者数	↗	③	5,808人	563人	1,012人	5,142人	12,000人
		健康づくりに関する教室・講演会への参加者数	↗	②	12,055人	3,298人	34,804人	24,992人	16,800人
	健康・医療に関する相談件数(累計)	↗	①	48,341件	95,872件	123,100件	149,741件	150,000件	
	(2) あらゆる世代の人が、いつでも気軽にスポーツなどの健康づくりに取り組むことができる環境づくりを進めます。	スポーツイベントの参加者数	↗	③	43,275人	15,199人	22,159人	31,897件	47,000人
	(3) 各種健(検)診の受診者を増やす取り組みなどを通じて、生活習慣病をはじめとする疾病の予防や早期発見を進めるとともに、食育や歯科口腔保健の推進を図ります。	特定健康診査受診率	↗	③	35.3%	30.1%	30.8%	33.3%	50.0%
大腸がん検診受診率		↗	①	7.7%	6.5%	6.7%	9.1%	40.0%	

※目標値を達成しているものはオレンジ色に、目標値は達成していないが、策定時より向上しているものは、薄黄色に網掛け

基本目標 2 市民の健康増進や地域医療の充実を図る

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	めざすべき方向	KPIの推移による分類	策定時の値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度実績値	目標値
2 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	(4) こころの病気の早期発見や早期対応に向けた取り組みを進めます。	こころの健康相談の相談件数	↘	④	6,471件	4,224件	5,735件	5,189件	-
	(5) 難病に対する理解を深めるとともに、医療や介護、福祉の連携を図りながら、難病患者が地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。	指定難病医療費助成制度更新申請者の療養状況把握割合	↗	④	99.6%	-	93.8%	75.9%	100.0%
3 健康危機管理が充実したまち	(1) 感染症の予防や拡大防止対策を強化するとともに、食品関係施設や生活衛生関係施設における衛生水準を向上することなどにより、健康に関する危機管理体制の充実を図ります。	1歳までにBCG接種を終了している者の割合	↗	④	97.5%	95.0%	100.8%	94.7%	98.0%
		収去検査における違反・不適件数	↘	④	2件	12件	4件	7件	0件
4 安心して適切な医療が受けられるまち	(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、地域医療の充実を図ります。また、地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制を構築します。	【再掲】コンソーシアム連携事業への参加者数	↗	③	5,808人	563人	1,012人	5,142人	12,000人
	(2) 初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	北河内こども夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率	↗	③	80.2%	85.8%	75.5%	76.9%	80.0%
	(3) 市立ひらかた病院は、地域の中核となる公立病院として、地域の医療機関と連携しながら、安全な医療の提供を進めます。	地域医療機関から市立病院への紹介件数	↗	①	12,289人	10,942件	13,242件	13,860件	13,144件
	(4) 外国人や聴覚障害者など誰もが安心して医療を受けることができる環境整備を進めます。	医療通訳士の利用件数	↗	③	538件	41件	153件	333件	500件
		医療機関への手話通訳者の派遣件数	↗	①	985件	937件	1,035件	1,127件	1,500件
(5) 高齢者などが住み慣れた地域で、医療・介護が一体的に受けられる体制づくりを進めます。	【再掲】地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数	↗	①	15回	11回	14回	16回	24回	

※目標値を達成しているものはオレンジ色に、目標値は達成していないが、策定時より向上しているものは、薄黄色に網掛け

基本目標 3 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標 (KPI)	めざすべき方向	KPIの推移による分類	策定時の値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度実績値	目標値
1 地域産業が活発に展開されるまち	(1) 企業誘致を促進するほか、企業団地などを中心に製造業の集積を図るなど、市内産業の活性化を図ります。	地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数(累計)	↗	①	18件	26件	27件	29件	24件
	(2) 中小企業の競争力強化のため、経営基盤の強化を図るとともに、産業技術や製品などを広く発信することで、市内産業の振興を図ります。	地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	↗	①	233件	217件	273件	385件	259件
	(3) 創業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりの充実に図ります。	市の創業支援を受けて創業した件数	↗	①	12件	5件	17件	23件	31件
	(4) 市内の企業や個人等が特徴ある地域資源などを活用した新たな事業展開に取り組める環境づくりを進めます。	市内企業が市の支援を受けて各種展示会の出展に取り組んだ件数	↗	②	14件	6件	19件	18件	20件
	(5) 身近な地域で買い物ができる利便性の向上や、地域活力の向上を図るため、主体的に取り組む商店街の活性化を図ります。	商店街が市の支援を受けて活性化に取り組んだ件数	↗	④	37件	15件	14件	11件	34件
2 いきいきと働くことのできるまち	(1) 就職困難者に対する就労支援をはじめ、地域の実情に応じた新たな雇用機会の創出など、雇用対策の充実に取り組みます。	地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	↗	③	66人	31人	61人	65人	109人
		就労支援対象者(生活保護受給者・生活困窮者)のうち就労に結びついた人数	↗	②	125人	97人	188人	153人	220人
3 安全で快適な交通環境が整うまち	(1) 交通渋滞の緩和や安全な交通環境を確保するため、市内の幹線道路の整備や京阪本線連続立体交差事業を進めるとともに、生活道路の改善を図ります。	幹線道路の整備率	↗	①	60.2%	60.2%	60.4%	60.9%	64.1%
		京阪本線連続立体交差事業の進捗状況	整備完了(H40予定)	-	用地取得の継続	用地取得の継続	用地取得の継続	用地取得の継続 鉄道高架化工事施工	整備完了(R10予定)
	(2) 交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化、防災面での広域連携を図るため、広域的な幹線道路等の整備に向けて取り組みます。	国道1号における交通量	↘	①	45,066台	43,629台	44,178台	43,389台	-
	(3) 日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。	歩道の設置延長距離	↗	①	117.1km	118.5km	120.1km	120.1km	120.0km
		交通安全に関する啓発イベント・教室講習等の参加者数(市が主催するもの)	↗	③	23,411人	-	6,524人	10,165人	25,000人

※目標値を達成しているものはオレンジ色に、目標値は達成していないが、策定時より向上しているものは、薄黄色に網掛け

基本目標 3 産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める

施策目標	基本的方向	重要業績評価指標(KPI)	めざすべき方向	KPIの推移による分類	策定時の値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度実績値	目標値
4 快適で暮らしやすい環境を備えたまち	(1) 市民生活の利便性向上や環境負荷の低減などを図るため、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通環境の整備を図るとともに、公共交通機関の利用を促進します。	公共交通利用促進啓発イベントの参加者数	↗	①	4,530人	5,327人	5,744人	6,137人	8,000人
		京阪バス主要停留所乗降客数の市域人口に対する割合	↗	③	15.8%	15.0%	10.7%	11.9%	-
		鉄道駅利用者の市域人口に対する割合	↗	④	71.4%	72.9%	60.3%	54.1%	-
	(2) 利便性の高い都市環境をめざし、医療施設や福祉施設、商業施設などの都市機能の集約を図る拠点を適正に配置し、効率的・効果的な都市整備を進めます。	【再掲】鉄道駅利用者の市域人口に対する割合	↗	④	71.4%	72.9%	60.3%	54.1%	-
		特定空家等及び特定空き地等の改善率	↗	-	100%	50%	100%	-	100%
	(3) 今後、増加することが見込まれる管理不良な空き家・空き地の発生抑制などを図るため、空き家・空き地の適正管理及び活用を促進します。	空き家の利活用件数	↗	①	-	1件	18件	46件	120件
		(4) 地震等の災害発生時に、被害を軽減できるよう、建築物の耐震化や、道路、橋梁、上下水道などの都市基盤の計画的な維持管理を図るなど、災害に強いまちづくりを進めます。	民間木造住宅耐震改修戸数(累計)	↗	①	595戸	687戸	713戸	752戸
	橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕率		↗	③	47.9%	(72.9%)	16.2%	29.7%	37.8%
(5) 公共下水道の雨水排水施設の適切な管理や計画的な整備を進めるなど、浸水被害の軽減を図ります。	主要な雨水幹線管渠の整備率	↗	①	45.6%	46.3%	46.3%	46.3%	45.6%	
5 人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	(1) 利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進めます。	枚方市駅利用者の市域人口に対する割合	↗	-	23.2%	19.0%	-	-	-
		枚方市駅周辺人口の市域人口に対する割合	↗	③	0.61	0.59	0.58	0.59	0.74
	(2) 枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、各種イベントの開催など賑わいづくりを創出します。	枚方市駅周辺の広場におけるイベント参加者数	↗	③	195,400人	23,139人	35,313人	39,477人	210,000人
6 地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	(1) 本市が有する歴史・文化などの貴重な観光資源を効果的に発信するとともに、幅広い世代の人々にとっての憩いの場や学びの場を確保することで、人々の交流機会の創出を図ります。	観光ステーション利用者数	↗	④	25,640人	24,528人	28,043人	19,764人	35,000人
		(2) 学生の活力を生かしたまちづくりを進めるため、教育などさまざまな分野で、学生のまちづくりへの参画を図ります。	市と大学との連携事業に参加した学生数	↗	③	1,906人	934人	922人	1,794人

※目標値を達成しているものはオレンジ色に、目標値は達成していないが、策定時より向上しているものは、薄黄色に網掛け